

## CONTENTS

1. 特定非営利活動法人野付・エコ・ネットワーク \_\_\_\_\_ 1
2. アクアマリンパークファウンデーション \_\_\_\_\_ 3
3. 一般社団法人 CS 阿波地域再生まちづくり \_\_\_\_\_ 5
4. 海と渚クリーンアップ活動（海浜清掃活動）報告 \_\_\_\_\_ 7  
令和4年度 海の羽根募金・あとがき \_\_\_\_\_ 12

<https://www.umitonagisa.or.jp>

公益財団法人 海と渚環境美化・油濁対策機構

発行者 公益財団法人 海と渚環境美化・油濁対策機構

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-24 湯島ペアービル7F

TEL 03-5800-0130 FAX 03-5800-0131

E-mail info@umitonagisa.or.jp

Twitterフォロー  
お願いします



@umitonagisa

## 1. 特定非営利活動法人 野付・エコ・ネットワーク

### 野付半島の浜辺の清掃活動

#### 1. 事業名

「野付半島の浜辺の清掃活動」

#### 2. 事業目的

「野付半島の浜辺の漂流ごみや廃棄ごみなどの清掃活動を通して浜辺の環境保全とエゾシカなどの野生動植物の保護の促進を図る」

#### 3. 事業内容

##### ① 野付クリーン作戦（標津町・別海町各一回）

野付半島は2つの行政区（標津町・別海町）にまたがっているが、その行政区を越えて浜辺の清掃活動を、年間2回実施する。

##### ② 浜辺清掃活動（羅網ジカ発生防止の為の漂流物回収等）

羅網ジカ（網やロープが角に絡まり衰弱するエゾシカ个体）の発生を防ぐ目的で、浜辺の漂着ごみや廃棄ごみの回収と整理を行う。（年間1回実施）

##### ③ 羅網ジカ対応活動

万が一、羅網ジカが発生した場合、麻酔処理（外部発注）をしての除去作業を計画している。（自己資金での対応）

\* 合わせて年間3回の「野付半島の浜辺の清掃活動」を計画した

#### 4. 活動の様子

##### ① 野付クリーン作戦（標津町・別海町各一回）

（活動内容）

\*活動日

標津町エリア 令和4年6月19日（日曜日）…19名参加

### ホームページ改訂のお知らせ

今年4月からホームページが新しくなりました。それに伴い以下の点が変わりましたのでお知らせします。まだ運用開始したばかりですので、これからも修正を加えながら見やすいホームページにしていきたいと思っています。

変更点：①アドレス:http://がhttpsとsが付きました。登録されている方は変更をお願いします。入力される方はお気を付けください。

②清掃活動の掲載場所が「海と渚の環境美化」>「活動報告」になりました。

ご案内：メルマガ新規登録を募集しています。「発行物」>「メルマガ新規登録」をクリックしてください。

この他にもいろいろな情報を掲載していますので、ご覧ください。皆様のご意見お待ちしております。

（福田）

別海町エリア 令和4年9月4日(日曜日)…  
12名参加

**\*参加者**

標津町エリア19名、別海町エリア12名…  
合計31名参加

**\*活動場所**

【北海道標津郡標津町・野付郡別海町  
野付半島】

**\*作業の内容**

班ごと(一班4~5名)に清掃エリアを徒歩で、燃えるゴミ、燃えないゴミに分別して清掃活動を行った。

**活動場所**



**6月19日(日曜日)野付クリーン作戦【標津町エリア】の様子**



写真① 自分の住む町を綺麗にしたいと参加したご夫婦



写真② 近くのゲストハウスのご主人も参加



写真③ 砂丘の草の中にもゴミが沢山



写真④ 車両が行き交う道路沿いでの作業の様子



写真⑤ 粗大ゴミも可能な限り回収しました



写真⑥ ペットボトルと缶類は分別

**9月4日(日曜日)野付クリーン作戦【別海町エリア】の様子**



写真① 作成した安全ベストを着用しての作業



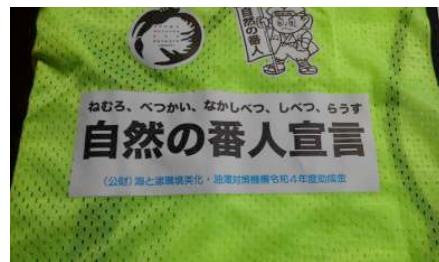
写真② 一班の担当範囲は、3~4km



写真③ ゴミ袋を色で区分しています

**\*購入物等【安全ベスト作成/ 用具類】**

1回目の活動後の反省で、道路沿いの清掃活動を安全に行うために安全ベストが必要とのことから、「公益財団法人海と渚環境美化・油濁対策機構」の名前をいれた安全ベスト50着を作成した。



## 2. アクアマリンパークファウンデーション

### 海神ネプチューン大学大学院 ～いわきの海岸でマイクロプラスチックを探る～

#### 1. 事業名

海神ネプチューン大学大学院  
～いわきの海岸でマイクロプラスチックを探る～

#### 2.

子どもたちが「自分で調べる」、「作り上げる」ということを実践する「海神ネプチューン大学大学院」というプログラムを実施し、自分達だけで活動出来たときの達成感を得ることで、自発的に海洋プラスチックごみ問題に取り組む次世代を育成する。

#### 3. 事業内容

##### ① ネプチューン大学大学院「いわきの海岸でマイクロプラスチックを探る」

参加者:中学生 15名(3年2名、2年4名、1年9名)

実施日:令和4年11月1日(土)

実施場所:

清掃、野外活動:薄磯海岸(福島県いわき市)

学習活動:イオンモールいわき小名浜イオンホール  
スケジュール:

9:00 集合・バス移動

9:30 海岸清掃・マイクロプラスチック(MP)状況確認

海岸砂の回収

11:15 バス移動・昼食

13:00 学習 <海洋プラスチックごみとマイクロプラスチック> <分析、まとめ方について>

13:20 マイクロプラスチックの分離、回収、分類、量の計測 考察、報告書作成

15:10 まとめ・アンケート

15:30 解散

##### ② ネプチューン大学大学院2022「マイクロプラスチックを海岸で探そう」

参加者:

小学生親子 10組 22人(6年1名、5年1名、4年3名、3年2名、1年2名、幼稚園2名)

実施日:令和5年3月18日(土)

実施場所:

野外活動:薄磯海岸(福島県いわき市)

学習活動:イオンモールいわき小名浜 イオンホール  
スケジュール:

9:00 集合・バス移動

9:20 海岸砂の回収(悪天候のため切り上げ)

9:40 移動

10:30 学習・マイクロプラスチックの分離

11:30 まとめ・アンケート

12:00 解散

#### 4. 報告書の掲示

場所:イオンモールいわき小名浜マリンコート

期間:11月13日(土)～11月27日(日)

#### 5. 事業総括

第1回として中学生を対象にマイクロプラスチックを集め、分析する事業を実施しました。参加した中学生は、最初マイクロプラスチックの知識をほとんど持っていませんでしたが、この活動によってどのようなものがマイクロプラスチックと呼ばれるのか、自分たちの身近な海岸にどれほど沢山の量があるかといったことを実感したようでした。こうした体感に加え、マイクロプラスチックと生物の関係、私達もマイクロプラスチックを口にしていると予想されるという現状についての学習を同時に行うことでマイクロプラスチックに関する危機をより強く感じたようでした。特に、アンケートではペットボトル1本がマイクロプラスチックになった場合かなりの量になることが印象に残ったという感想が多く見られました。マイクロプラスチックの回収を行う前に全員で海岸清掃を行いました。それほど多くのごみは拾えなかったにも関わらず、多くのマイクロプラスチックが見つかったことにも驚きがあったようです。今回のプログラムにおいては自分たちで調べる場所を選んで、その結果を比較し、考察するといった作業を行うことでマイクロプラスチックだけでなく、自分たちで論理的に実験を組み立て実施するというのも目的の一つでした。波打ち際、中間地点、堤防付近という場所を選んで比較するなどプログラムの目的に合致するグループもあり、プログラムとして非常に成果を上げたと考えています。アンケートにおいても満足度が高かったのは生徒自身がそのことを感じたからであると思われます。反省点としては、時間が十分に取れなかったため、それぞれの結果についてお互いにディスカッションや質問する時間が短かったことが挙げられます。次回は反省を活かし、それぞれの考えをもっと引き出せるプログラムとして実施したいと考えています。

記録写真 第2回海神ネプチューン大学大学院2022「マイクロプラスチックを海岸で探そう」



写真① 荒天の中の砂集め



写真②



写真③ イオンモールの中の学習活動



写真④ マイクロプラスチック分離作業



写真⑤



写真⑥

第1回アンケート (総数 15)

1. 今日の話は理解できましたか

よく理解できた 14

だいたい理解できた 13

2. 話の中で印象に残ったことはなんですか

・ペットボトル1本で1680個のマイクロプラスチックができてしまうこと(5)

・プラスチックボトルは450年も分解されずにいること(2)

・人の血液中からもプラスチックが見つかったこと(6)

・いろいろな生きものからマイクロプラスチックが発見されたこと

・マイクロプラスチックが結構取れたから

3. 今日の活動は楽しかったですか

とても楽しかった 14

楽しかった 1

4. 今日の活動で発見したことはなんですか

・集める場所でマイクロプラスチックの量が全然違った(4)

・マイクロプラスチックに範囲(5mm以下である)があること

・波打ち際のプラスチックが少ない

・マイクロプラスチックはどれだけ小さなものでもプランクトンや魚が食べてしまったりすると大変であること

・マイクロプラスチックは目立たないけれど砂浜にたくさん落ちてしまっていること

・プラスチック、ごみの恐ろしさ

5. 印象に残ったこと

・マイクロプラスチックの細かさや量の多さは魚たちが食べる量、私たちがどれだけ取り込んでいるかを知れたことです。

・海岸を歩いてみて、予想よりもプラスチックが多く落ちていて、驚きました。

・マイクロプラスチックのとれる場所は余り決まっていないが、波によって運ばれたり、人によって移動させられたりしていることが調べてわかったこと。また、意外と量が多く、形も様々だったこと。

・今、世界中でマイクロプラスチックが問題になっている

が、国によって問題になっているマイクロプラスチック(種類など)が違うことに驚いた。

・マイクロプラスチックが、こんなにいろいろな色の種類があるということにとっても印象に残りました。

・イオンモールの中でプラスチックを探したこと

・レポートを作ったこと

・家庭内とかで使っていたごみなどが小さくなって魚にも影響が出るということ

・ごみ拾いのときにいろいろな生物がいた事

・今回清掃した海岸はきれいだったことに驚いた。

・海岸の場所によってマイクロプラスチックの違いがあること

・環境中での残存期間がとても長いこと

・魚たちに大きな被害を与えているということ

・見つからないだけでマイクロプラスチックはたくさんあるということ。

・砂浜の特徴とプラスチックの量が一致して新しい発見を得たこと。

・海から離れるほどプラスチックが多くなって驚いた。

6. プラスチックごみに関するイベントでこんなことをしてほしい、こうしてほしいということがあったら教えてください。

・プラスチックが実際に分解されるのを見てみたいと思いました。

・プラスチックと地球温暖化(水質汚染)に関すること

・どれだけマイクロプラスチックが深刻な問題になっているのかという今日の話聞かせる場をもっと設けてほしい。(年齢関係なく!!!!)これだけ面白い話だから、大人の人たちも聞きたがると思います。

・できるだけごみをたくさん取るためにイベントも増やしたり参加人数を増やせると良いと思った。

・プラスチックごみについてとても良く知ることができた

・日本の中ではこれくらいの量だけど世界ではどれくらいなのかどのような影響があるのかを知りたい

・ゴミ拾いをもっとしたい

・このままだとどうなるのか具体的に教えて欲しいです

# 3. 一般社団法人 CS 阿波地域再生まちづくり

## 徳島小松島港の豊かな里海づくり体験プログラム

### 1. 事業名

徳島小松島港の豊かな里海づくり体験プログラム

### 2. 事業目的

徳島小松島港赤石地区周辺は漁港と海辺に面して公共の交流空間が整備され、市民の釣りやウォーキングコースとしての憩いの場や、野球場、グラウンドによる健康づくりができる多機能な空間構成となっている。一方、港内や海辺周辺はごみが放置されており、漂着ごみや河川ごみが海洋へ流出し近年問題となっている。社会問題となっている海洋マイクロプラスチックごみが当エリアでも深刻化している。このような状況により、地域の海洋環境問題の解決に向け、地域レベルで実践できる市民参加型の保全活動として次世代を担う子供たちと事業を実施することとする。

### 3. 事業内容 (計画)

#### ①取組内容 (計画)

プラスチックごみの有害性を学習し、実際に収集活動を行う。

- 1、活動日 令和4年9月25日 9時～15時(雨天順延)
- 2、活動場所 徳島小松島港赤石ふ頭周辺及び和田島沿岸部
- 3、参加者：60名
- 4、対象者：5歳以上～の親子申し込みとする。

#### ②取組プログラム内容 (計画)

##### 1.海辺のクリーンアップ清掃

- ・「海洋環境ワークショップ学習」
- ・「海洋環境美化クリーンアップ活動実施」プラスチックごみの収集
- ・「収集ごみ重量測定」ごみの重量測定競技  
(収集したごみの量を競いあい、一番重たかった親子に1位の記念品を提供)

##### 2.親子釣り教室

釣りを通して海洋環境を維持することで、海の生物が生息しやすい環境づくりを行い、釣りやマリンレジャーの里海自然体験を

身近に感じてもらうことを啓発する。

### 4. 事業実施期間等

日時：令和5年1月22日・日曜日

### 5. 事業実施主体

主催：一般社団法人 CS 阿波地域再生まちづくり

### 6. 事業取組内容

#### ① 1.海辺のクリーンアップ清掃

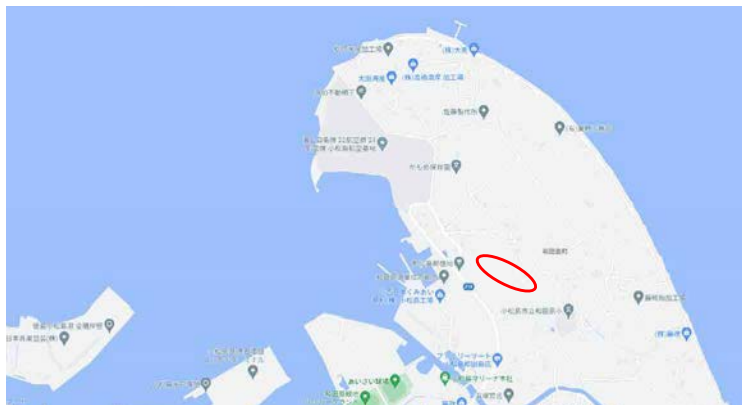
- ・「海洋環境ワークショップ学習」
- ・「海洋環境美化クリーンアップ活動実施」プラスチックごみの収集
- ・「収集ごみ重量測定」ごみの重量測定競技

本事業では、コロナ感染者が拡大傾向にあったため、9月実施を延期し、12月開催を予定したが、運営側にコロナ感染者が発生し、やむを得ず、1月開催に変更した。釣り体験は、人気プログラムであったが、強風のため、岸壁に高波が多いことから、現地での釣り教室は中止し釣り学習プログラムを実施した。

### 7. 事業の成果及び創意工夫について

本事業を推進にあたり、収集したゴミを計測し、およそ2.5トン近いゴミを収集した。本事業では、次世代に続く若者を海の環境保全活動の担い手として育成したいと考えており、地元高校よりボランティアの学生4名が参加してくれた。学生ボランティアは、学校を経由して周知した結果、自発的に参加したため、引率

#### 活動場所



の教師はいないがその分学生のプログラムへのかかわり方の自由度が増したと言える。また、参加した学生は、目的をもって参加しており、自己意識の高上げが目標であることを把握できた。

親子参加を促進するために、浜辺でのごみを宝と見立てた「宝さがし体験」も実施した。狙いは、単に海のゴミ拾い募集では、子供などは興味を示さないため、創意工夫が必要と考え、「楽しみながら海の清掃活動を行う」ために、ゴミを収集する活動のなかで、法人が指定したゴミにお宝を隠し、親子でゴミを収集しながらお宝を探してもらうことにした結果、子供の意欲を促進させることができたことは大きな成果と言える。また、実施後に保護者の方から、本プログラム

に参加して以来、子供が自宅で自発的に掃除をするようになり、感謝の連絡を頂戴した。プログラム終了時に、「参加者の一言」と言う時間を設け意見収集も行い、感想や今後の個人の目標、課題、などを収集した。

当法人の視点では、海をきれいにすることや海に親しむことを同時プログラムとして発信し、次世代につなげて行きたいと考えており、多くの一般の方々と「協働」を行うためには、保全だけでなく、「保全と活用」を同時プログラムにすることで、海が持続的に保全維持されると分かった。当法人が考える「保全」とは、海辺の清掃・学習を指し、「活用」とは本事業のプログラムである釣り体験や、宝さがし、今後実施予定の漁船クルージングのようなイメージである。



### 令和5年度全国一斉海浜清掃

5月に新型コロナウイルス感染症が「5類」に引き下げられ、色々なイベントが復活の様子を見せています。感染対策で清掃活動も自粛、縮小が続いていましたが、少しずつでも復活してほしいと思います。

こんな目線で見ているからでしょうか、今年は5月に入ってからのゴミ袋の問い合わせが多いように思えます。問い合わせ理由は不思議と同じで「忘れてました。

まだゴミ袋頂けますか。」です。自粛していた清掃活動を開催することになったとか、参加予定人数が増えて在庫で賅えなくなったのではないかと希望的観測をしています。

今年の旗揚げ式は5月13日北海道厚岸町で開催されました。

(福田)

# 4. 令和4年度 海と渚クリーンアップ活動(海浜清掃活動)報告

## 未来に残したい、美しい浜辺・青い海

\*全国から集まった海浜清掃活動報告をご紹介します。(ホームページに掲載したものの一部です)

\*ホームページ <https://www.umitonagisa.or.jp/houkoku/>

\*Twitter <https://twitter.com/umitonagisa>

### ■北海道

#### 湧別漁業協同組合

令和4年4月~11月

活動場所 湧別漁港内

参加者 延べ252名

ごみの量 自然物ごみ 120袋  
合計 1800kg

コメント 環境美化推進のため今後も本清掃活動を継続すべきである。



### ■青森県

#### 中泊町

令和4年4月22日

活動場所 小泊マリンパーク・折腰内  
海岸・国道339号線

参加者 約180名(総人員)

【齋勝建設(株)・宝森建設  
興業(株)・島村産業(株)・(株)  
竹内組・(株)青南商事・(株)  
環境工学】

ごみの量 自然物ごみ 70袋  
人工物ごみ 600袋

コメント 全体的に例年に比べ、漂着物は少ないように思われた。しかし、砂浜に埋まっている漂着物の回収はとても大変で苦労したという声が多く聞こえた。



#### 小泊漁業協同組合

令和4年5月26日

活動場所 小泊漁港全域及び一部  
海浜域

参加者 24名

【小泊漁業(役職員)、漁  
協婦人部(部員)、小泊  
清港会(建設業者他)】

ごみの量 自然物ごみ 20袋  
(5kg入)  
人工物ごみ 80袋  
(5kg入)  
その他 残土 200kg

コメント 当地域では例年、いか釣り、刺網漁業等沿岸漁業の盛漁期を迎える前に小泊漁港周辺一斉清掃活動を実施している。しかし、今年度も引続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、漁協役職員他24名で、5月26日に活動実施した。その結果、提供されたゴミ袋(100枚)にゴミの種類ごとに分別、集積場所へ搬入・処分となった。



#### 外ヶ浜町

令和4年7月6日

活動場所 外ヶ浜町「龍飛海岸」

参加者 90名

ごみの量 自自然物ごみ 200袋  
人工物ごみ 50袋

コメント 海外からのゴミや漁具が多い。今回は漁具以外を回収したが、

全てのごみを回収できなかった。何度か龍飛海岸のゴミ拾いをしているが、その都度、同じ量のゴミが漂着している。



### ■茨城県

#### 大洗町

令和4年7月3日

活動場所 大洗サンビーチ、大洗海岸、水辺プラザ

参加者 2,000名

ごみの量 5.36t(全体で)  
燃やせるごみ 4.92t  
燃やせないごみ 0.18t  
粗大ごみ 0.26t

コメント ・海水浴シーズンを前に気持ちよくレジャーを楽しんでいただける。  
・町内全体がきれいになったため、この状態を維持していきたい。



### ■石川県

#### 北陸電力(株) 原子力本部

令和4年7月8日

活動場所 増穂浦海岸

参加者 60名

ごみの量 自然物ごみ 80袋

人工物ごみ 110袋

その他 流木、ロープ、藻

コメント プラスチックの破片が多く見られ、今問題になっている『マイクロプラスチック被害』について強く考えさせられた。本活動は地元団体と連携して実施した。



### 志賀原子力発電所及び協力会社

令和4年7月13日

活動場所 大島海岸

参加者 100名

ごみの量 自然物ごみ 30袋

人工物ごみ 20袋

コメント 大変熱い中での作業となりましたが、約1時間の作業で見違える程きれいになりました。



### 富山県

#### 北陸電力(株) 富山新港火力発電所

令和4年6月23日

活動場所 海老江浜

参加者 22名

ごみの量 自然物ごみ 13袋

人工物ごみ 3袋

コメント 毎年清掃活動をしているが、今年の浜辺は比較的綺麗だった。海開きの前に、気持ち良く利用してもらえよう細かな場所も見て回った。



### 福井県

#### 越廼漁業協同組合

令和4年 9月25日

令和4年10月17日

活動場所 福井市菜崎町 菜崎漁港  
福井市蒲生地区海岸

参加者 31名

ごみの量 自然物ごみ 25袋

人工物ごみ 30袋

コメント 以前より港内のゴミは少なかったが、釣り客が捨てる釣り糸やエサの残り物などが見られマナーが問われた。居倉地区においては、発泡のくずやロープ等漂流物が多くみられた。



#### 美浜町漁業協同組合

令和4年 5月24日【菅浜地区】

令和4年 5月25日【早瀬地区】

令和4年 5月28日【坂尻地区】

令和4年 6月5日【日向地区】

令和4年 7月3日【丹生地区】

実施場所 各地区 漁港周辺並びに海岸

参加者 のべ225名

ごみの量 自然物ごみ 123袋

人工物ごみ 52袋

その他 45袋

コメント ・漁具(網やロープ)のゴミ処理が大変である。  
・漂着したゴミ処理を美浜町へお願いしているが、予算の関係などで時間がかかる。



### 静岡県

#### 渚の交流館

①令和4年 7月 3日

②令和4年11月 6日

③令和5年 2月 5日

活動場所 豊浜海岸

参加者 ①52名 ②93名 ③96名

ごみの量 自然物ごみ 360袋

コメント 回数を重ねるごとに参加者が増えていき、また、こうした活動を積極的にささえてくれる協賛企業も現れ、活動の輪が広がって行っている実感を持っております。



#### 中部電力パワーグリッド(株) 静岡支社 浜松営業所 総務グループ

①令和4年5月 8日

②令和4年6日 5日

活動場所 ①中田島砂丘

②浜名湖岸、刑部川堤防

参加者 ①96名 ②72名

ごみの量 ①2.3t(活動主催者報告量)

②全体18t主催者発表による

コメント ①今後も地域との連携を深め、環境保全への取り組みを積極的に行っていきたい。

②今年も無事清掃活動ができてよかった。いつも事業活動でお世話になっている尾鷲のために来年以降も実施していきたい。





### 中部電力パワーグリッド(株) 掛川営業所 総務グループ

令和4年6月5日

実施場所 菊川河口付近海岸

参加者 18名

ごみの量 人工物ごみ 18袋

コメント 40年も続けられている清掃活動に参加ができてよかった。



### ■愛知県

#### 中部電力パワーグリッド(株) 半田営業所 契約サービス課

令和4年6月7日

活動場所 半田市緑地公園

参加者 21名

ごみの量 25袋

コメント 今年で18回目の実施、海風が強くとゴミを飛ばされそうになるほどでしたが、2人1組になって協力し合い、回収しました。今後も継続していきます。



### ■三重県

#### 三重県漁業協同組合連合会

令和4年6月～10月

活動場所 県内 計60か所

参加者 計1653名

(内漁業関係者923名)

ごみの量 自然物ごみ 3,540袋

人工物ごみ 3,486袋

その他 コンテナ 3m<sup>2</sup>×2

トン袋×4、パッカー車×2

台、トラック×1台、

軽トラック×6台(草、枝)

コメント 令和4年7月16日、三重漁連が主催となり、中央会場にて漁業関係者・水産関係団体・企業団体・一般などによる海浜清掃を行ったほか、6月11日～10月16日にかけて、県内の各浜59か所において各地の漁協が主催する海浜清掃が行われ、雑草・木くず・空き缶・ペットボトルなどが回収された。



### ■島根県

#### 漁業協同組合 JFしまね

令和4年7月16日～17日 中心

活動場所 JFしまね各支所・出張所  
管内地先海岸

参加者 約8団体 約580名

ごみの量 一般ごみ 780袋

カンビンごみ 620袋

コメント 本年度については、昨年に続き新型コロナウイルスの影響を考慮して、各自治会等に清掃実施の判断を委ねたところ、8支所22地区(例年は10支所約34地区)で計画されたところが7月に入り、一日当たりの感染者数が連日過去最多を更新するなど猛烈な第7波の直撃により、予定していた活動を中止する地区、また外部からの参加を見合わせ地区内で完結したいとの要望もよせられ、最終的に3支所8地区での実施となった。また、計画通り実施された中で、一部の地域は、川からの木材や竹類が漂着したほか、木片・竹片、海藻類、外国製プラスチック類、ブイ、ロープ類等の漂着ゴミを中心に、漁具・漁網、ペットボトル、缶類等が回収された。砂浜の海岸においては、弁当殻、空き缶、使用済み花火等のポイ捨てがゴミが相変わらず目立った地区もあった。



### ■山口県

#### 尾国地区協議会

令和4年7月18日

活動場所 尾国地区海岸

参加者 63名

ごみの量 自然物ごみ 約150袋

人工物ごみ 約10袋

その他 発泡スチロール、流木などで袋に入らないものも多くあり

コメント 毎年、清掃活動を継続しているが海岸の漂着物は多いと感じる。



### ■徳島県

#### 電源開発(株) 橋湾火力発電所

①令和4年6月2日

②令和4年6月17日

活動場所 ①県道

②小勝島北岸海浜域小勝神社

参加者 ①30名

②30名

ごみの量 ①②自然物ごみ 20袋

人工物ごみ 5袋

合計 25袋

コメント 近くの小勝神社も清掃し、夏の安全を祈願した。竹の伐採により日当たりがよくなった。また、倒木を片付けたことにより歩道が歩きやすくなり、安全も確保されたと感じる。



**四国電力(株) 阿南火力事業所**  
令和4年11月7日

活動場所 小勝島東側海岸

参加者 28名

(四国電力、電源開発 各14名)

ごみの量 自然物ごみ 6袋

人工物ゴミ 10袋

その他 プラスチックの箱

コメント 橋港検疫衛生管理推進協議会活動の一環として、橋湾内海域に漂着した各種ゴミを回収できた。地域の環境美化に貢献できる活動であるため、今後も継続して実施していきたい。



**■愛媛県**

**四国電力(株) 伊方発電所**  
令和4年6月28日

活動場所 伊方発電所前海岸

参加者 19名

ごみの量 自然物ごみ 20袋

人工物ごみ 30袋

その他 大型発泡スチロール等多数

コメント ・ペットボトルやアルミ缶をはじめとした家庭ごみが多く、ひとつひとつごみを拾いながら「ごみの分別や処分方法、そもそもごみを出さないように生活する

にはどうすれば良いか」といった事を考えるようになった。

・今回の海浜清掃は「環境」について考える良いきっかけになった。

・暑い中での作業ではあったが、伊方発電所の事務所から見える海岸がきれいになってとても気持ちが良い。

・参加人数のわりには予想をはるかに越えたごみを回収でき、達成感を感じた。



**愛南町B&G御荘海洋クラブ**  
令和4年7月16日

活動場所 御荘湾・長洲川(御荘B&G海洋センター艇庫周辺)

参加者 30名

ごみの量 自然物ごみ 60袋

人工物ごみ 60袋

コメント 雨上がりで、むしろ暑い中での活動となりましたが、熱中症に注意しながらゴミの収集を行いました。自分たちで活動地域を綺麗にすることによって、環境保全に対する興味も湧いているようでした。



**■高知県**

**入野松原保存会**  
令和4年10月23日

活動場所 入野海岸・浮津海岸

参加者 約250名(入野海岸:約200名 鞭海岸:約50名)

ごみの量 自然物ごみ 150袋

人工物ごみ 150袋

コメント 毎年同時期に砂浜清掃を実施している。今年も台風の影響で海岸漂着ごみの量は多かった。参加者数は例年同様の人数であった。毎年5月に開催のTシャツアート展、11月に砂浜映画鑑賞、キルト展を開催している。来場者の方には黒潮町の美しい砂浜を思う存分楽しんでいただきたい。親しみのある海岸がきれいになるのは嬉しい。今後も参加したい。



**■福岡県**

**吉富町、吉富漁業協同組合**  
令和4年7月24日

活動場所 吉富海岸

参加者 600名

ごみの量 自然物ごみ 800袋

人工物ごみ 800袋

その他 大型ゴミについては直接トン袋に積み込み

コメント 吉富海岸を、吉富町民、小中学校児童生徒、地元企業従業員、周辺市町の一般ボランティアなど総勢約600人が参加して、吉富海岸に漂着したゴミを回収する清掃活動を実施した。また、家族での参加者も多く、楽しく清掃活動するため、宝さがしゲームも行った。



## 国土交通省 筑後川河川事務所

令和4年8月19日

**活動場所** 福岡県内 筑後川・矢部川の河口漁港 4箇所、佐賀県内 大詫間海岸(大詫間漁港)1箇所

**参加者** 総勢350名(当所から参加依頼した関係機関を含む)※筑後川河川事務所職員の外、筑後川・矢部川の流域自治体、その他関係機関へ参加依頼を行っている。

**コメント** 河川管理者である当事務所を始め、流域自治体、河川利用者(水道企業団、福岡都市圏広域事業行政組合など)に毎年参加案内し「有明海クリーンアップ作戦」に参加して清掃活動を行っているところです。河川管理者としても、美しい自然を守るための好取り組みとして、今後も継続して参加したいと考えています。



## ■熊本県

### 天草市

令和4年5月25日～9月1日迄

**活動場所** 牛深地域、御所浦町、倉岳町、五和町、天草町の各海岸

※栖本町については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ※佐伊津地区については、雨天により中止

**参加者** 4,065人

**ごみの量** 273.2m

**コメント** ・班編成で実施し、清掃をしながら参加する児童生徒の交流ができた。  
・活動をする方の高齢化が進み人員の不足等で収集範囲が狭くなりつつ

ある地域がある



### 津奈木町役場・ 津奈木漁業協同組合

令和4年7月22日

**活動場所** 合串漁港周辺・赤崎漁港周辺・大泊漁港周辺

**参加者** 50人

**ごみの量** 自然物ごみ 200袋(70kg)  
人工物ごみ 200袋(125kg)  
計 400袋(195kg)

**コメント** 恒例となっているこの海の日清掃活動であるが、令和元年度及び令和2年度はコロナウイルスの影響と令和2年7月豪雨災害の影響で実施ができなかった。今回は3年ぶりの開催となり、規模を縮小し漁業者中心に雨天ではあったものの自主的な清掃活動となった。海の日以外においても、各団体の協力体制により海岸周辺がきれいになってきている。ゴミ袋の提供は、海を綺麗にするためにも必須の資材でありありがたいので、引き続き来年もお願いしたい。



## ■大分県

### べっぷの海岸みまもり隊

令和4年4月17日、5月15日、

6月19日、10月16日、11月20日

別ボランティア協力 5月5日

海岸海浜清掃@生活環境課 7月17日

**活動場所** 餅ヶ浜海岸南側、北側(各3回)、SPAビーチ(1回)

**参加者** 1,178人

(別ボランティア協力&海岸海浜清掃@生活環境課 818人)

**ごみの量** 自然物ごみ 大 392袋  
人工物ごみ 大 128袋

**コメント** ・清掃活動をしているのを聞き参加した。これからも参加していこうと思う。  
・学校内でLINEグループがあり参加した。海岸が綺麗になると嬉しい。



## ■沖縄県

**沖縄電力および沖電グループ**  
環境月間の6月を中心の2022年度を通して、合計48回の清掃活動を行いました。

**活動場所** 沖縄県内海岸および河川(浦添西海岸、浦添市牧港川周辺、浦添市牧港漁港周辺、宜野湾市トロピカルビーチ、中城村吉の浦海岸、うるま市中城湾新港地区運河、うるま市石川ビーチ、金武町金武火力発電所親水性護岸、名護市屋我地島真喜屋ビーチ、宮古島市砂山ビーチ等)

**参加者** 1,119人

**ごみの量** 自然物ごみ、人工物ごみ、その他 計422袋

**コメント** 沖縄電力および沖電グループの役職員により沖縄県内各地の海浜等清掃活動を実施しました。今後も地域貢献および海洋プラスチック対策として海浜清掃活動に積極的に参加していく予定です。



# 令和4年度 海の羽根募金

海と渚をきれいにを目指す「海と渚の環境美化活動」に皆様方からの温かいご支援をいただきました。心よりお礼申し上げます。  
(個人の方からもたくさんのご支援をいただきましたが、団体名のみ記載させていただきます。)

- 落部漁業協同組合
- 広尾漁業協同組合
- 雄武漁業協同組合
- 長万部漁業協同組合
- 枝幸漁業協同組合
- 斜里第一漁業協同組合
- 別海漁業協同組合
- 古宇郡漁業協同組合
- 青森県漁業環境保全振興協会
- 野辺地町漁業協同組合底見部会
- 後潟漁業協同組合
- 蓬田村漁業協同組合
- 重茂漁業協同組合
- 秋田県漁協女性部連絡協議会
- 中之作漁業協同組合
- 勝浦漁業協同組合
- 富津漁業協同組合
- 東京都漁業協同組合連合会
- 横浜市漁業協同組合柴支所
- 小田原市漁業協同組合
- 葉山町漁業協同組合
- 小坪漁業協同組合
- 魚津漁業協同組合
- 石川県漁業協同組合加賀支所
- 石川県漁業協同組合志賀支所
- 越前町漁業協同組合
- 豊浜漁業協同組合
- 小島漁業協同組合
- 紀州日高漁業協同組合
- 海門市漁業協同組合
- 姫路市漁業協同組合白浜支所
- 南あわじ漁業協同組合
- 但馬漁業協同組合
- 津名漁業協同組合
- 津津漁業協同組合
- 木曾岬漁業協同組合
- 和歌山北漁業協同組合西脇支所
- 岡山市漁業協同組合
- 岡多田島漁業協同組合
- 瀬戸田漁業協同組合
- 音戸漁業協同組合
- 下蒲刈町漁業協同組合
- 岩国市漁業協同組合
- 椿泊漁業協同組合
- 和田島漁業協同組合
- 牟礼漁業協同組合
- 鴨庄漁業協同組合
- 愛媛県漁業協同組合魚島支所
- 愛媛県漁業協同組合壬生川支所
- 愛媛県漁業協同組合関前支所
- 愛媛県漁業協同組合新居浜支所
- 高知県漁業協同組合室戸統括支所
- 福岡県漁協青壮年協議会
- 北九州市漁業協同組合
- 北九州市漁業協同組合若松支所
- 宗像漁業協同組合
- 宗像漁業協同組合地島支所
- 福岡市漁業協同組合能古支所
- 佐賀県有明海漁業協同組合
- 宇久小値賀漁業協同組合
- 大分県漁業協同組合
- 河内漁業協同組合
- 倉岳町漁業協同組合
- 川口漁業協同組合
- 滑石漁業協同組合
- 東枝島漁業協同組合
- 瀬戸内漁業協同組合
- 糸満漁業協同組合
- 西日本信用漁業協同組合連合会
- 全国共済水産業協同組合連合会大分県事務所
- 香川県信用漁業協同組合連合会
- 香川県漁業共済組合
- 長崎県信用漁連職員組合
- 九州信用漁業協同組合連合会宮崎統括支店
- 全国漁業協同組合連合会
- 全漁連釧路油槽所
- 全漁連八戸油槽所
- 全漁連東北事業所・仙台駐在
- 全漁連境港油槽所
- (一財) 漁村教育会
- (一財) 漁港漁場漁村総合研究所
- (一財) 千葉県漁業振興基金
- (一財) 中央漁業操業安全協会
- (一財) 日本鯨類研究所
- (一社) 海外まき網漁業協会
- (一社) 漁業経営安定化推進協会
- (一社) 漁業情報サービスセンター
- (一社) 水産土木建設技術センター
- (一社) 責任あるまぐろ漁業推進機構
- (一社) 全国まき網漁業興協会
- (一社) 全日本漁港建設協会
- (公財) 海洋生物環境研究所
- (公財) 海洋生物環境研究所実証試験場
- (公財) 漁船海難遺児育英会
- (公社) 全国豊かな海づくり推進協会
- 全国遠洋沖合漁業信用基金協会
- 全国漁業共済組合連合会
- 全国さんま棒受網漁業協同組合
- 全国市町村水産振興対策協議会
- 日本漁船保険組合
- (特非) 水産業・漁村活性化推進機構
- (国研) 水産研究・教育機構
- (国研) 水産研究・教育機構 釧路庁舎
- (国研) 水産研究・教育機構 水産技術研究所
- (国研) 水産研究・教育機構 水産資源研究所八戸庁舎
- (国研) 水産研究・教育機構 水産技術研究所神栖拠点
- (国研) 水産研究・教育機構 水産技術研究所南勢拠点
- (国研) 水産研究・教育機構 水産技術研究所八重山庁舎
- (国研) 水産研究・教育機構 水産技術研究所調査センター
- (株) イタ飯屋
- (株) 伊藤園
- (株) 内田プラスチック
- (株) エルコム
- オーシャンガーディアンズ
- 酒田曳船(株)
- 佐世保魚市場(株)
- (株) 水産経済新聞
- サントリービバレッジソリューション(株)
- ジェイコインベイ
- (株) SPICE SERVE
- ソフトバンク(株)
- たい公望(有)
- タイドードリンコ(株)
- (株) チエノワ情報システムズ
- 東京魚類容器(株)
- 東洋漁業(株)
- (株) 西原資源
- 日豊化学産業(株)
- (有) 仁徳海運
- (株) 泰州
- 横浜冷凍(株)
- 東小千谷小学校4年生
- 藤枝特別支援学校焼津分校
- 宮崎市立東大宮中学校
- 横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校6年3組
- 北海道水産林務部水産局水産振興課
- (地独) 北海道立総合研究機構水産研究本部函館水産試験場
- (地独) 北海道立総合研究機構水産研究本部さっぽろ内水面水産試験場
- (地独) 青森県産業技術センター下北ブランド研究所
- 青森県農林水産部水産局水産振興課
- 青森県産業技術センター水産総合研究所
- 岩手県農林水産部水産振興課・海区海業調整委員会事務局
- 岩手県水産技術センター
- 宮城県水産林政部水産業基盤整備課
- 宮城県水産技術総合センター気仙沼水産試験場
- 宮城県水産技術総合センター
- 秋田県水産漁港課水交会
- 福島県農林水産部水産課
- 茨城県農林水産部漁政課
- 栃木県農政部農林振興課
- 栃木県水産試験場
- 千葉県漁業資源課
- 神奈川県環境農政局農水産部水産課
- 新潟県農林水産部水産課
- 新潟県内水面水産試験場
- 富山県水産漁港課
- 石川県農林水産部水産課
- 石川県水産総合センター
- 福井県内水面総合センター清流会
- 静岡県水産・海洋技術研究所
- 愛知県農業水産局水産課
- 三重県農林水産部水産振興分野
- 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター
- 鳥取県農林水産部水産振興局
- 鳥取県水産試験場
- 島根県農林水産部水産課沿岸漁業振興課
- 島根県農林水産部水産課
- 山口県水産研究センター 外海研究部
- 愛媛県水産課
- 徳島県水産振興課漁業調整課部会
- 香川県農政水産部水産課
- 福岡県漁業管理課
- 福岡県水産振興課
- 福岡県水産技術センター
- 佐賀県有明水産振興センター
- 佐賀県玄海水産振興センター
- 熊本県水産研究センター
- 大分県農林水産部漁業管理課
- 大分県農林水産部研究指導センター
- 宮崎県農政水産部漁業管理課
- 宮崎県農政水産部漁業振興課
- 宮崎県水産試験場
- 沖縄県農林水産部水産課
- 水産庁漁政部企画課
- 水産庁漁場資源課
- 水産庁栽培養殖課
- 水産庁漁政課
- 水産庁水産経営課
- 水産庁国際課
- 水産庁管理調整課
- 水産庁整備課
- 水産庁防火漁村課
- 水産庁加工流通課
- 水産庁漁業取締課
- 水産庁計画課
- 水産庁仙台漁業調整事務所
- 水産庁新潟漁業調整事務所
- 水産庁境港漁業調整事務所
- 水産庁瀬戸内海漁業調整事務所
- 水産庁九州漁業調整事務所

## あ と が き

過去数年、新型コロナウイルス感染対策のため屋外の活動でもマスクを着用していました。そのため清掃活動や植樹活動の報告写真にはマスクをした写真ばかりでした。当初は違和感がありましたが、見慣れてくると、皆さん顔を隠してくれているようなものなので、報告書に掲載する写真が選びやすいこともありまし

た。でも屋外ではやっぱりマスクを外して、海や森の空気を思いっきり吸い込んで活動の方が気分良いです。これからは笑顔いっぱいの写真が届くことを期待しています。写真選びには注意します。今後もご支援、ご協力をお願い致します。(福田)

14 海の豊かさを  
守ろう



15 陸の豊かさを  
守ろう

